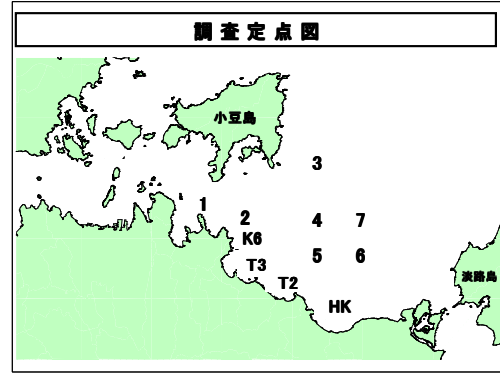


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2012. 8- 1号)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 8月3日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

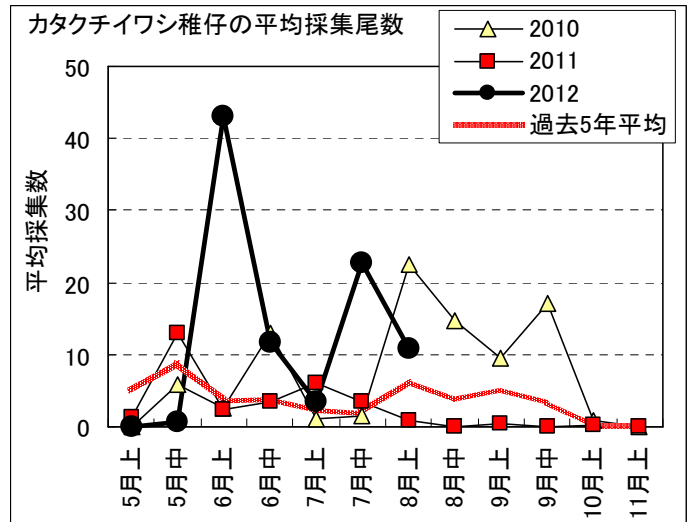
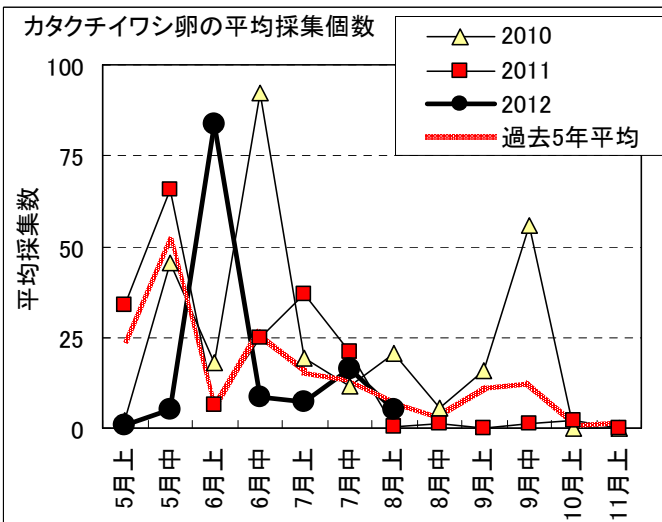


【カタクチ卵】 定点別出現数

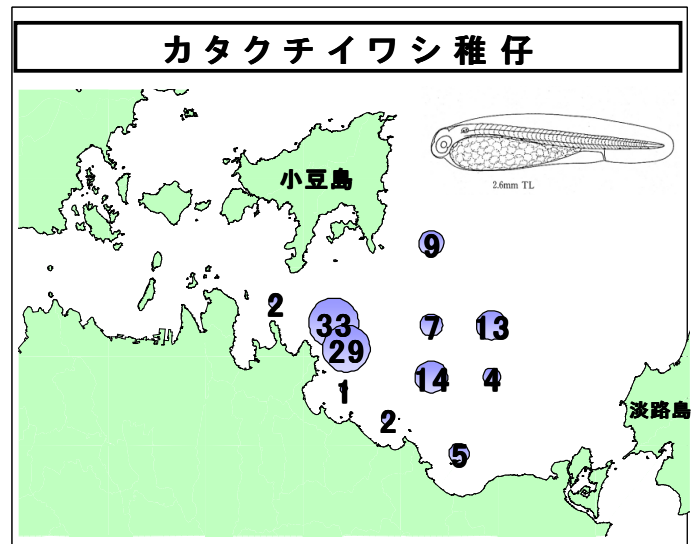
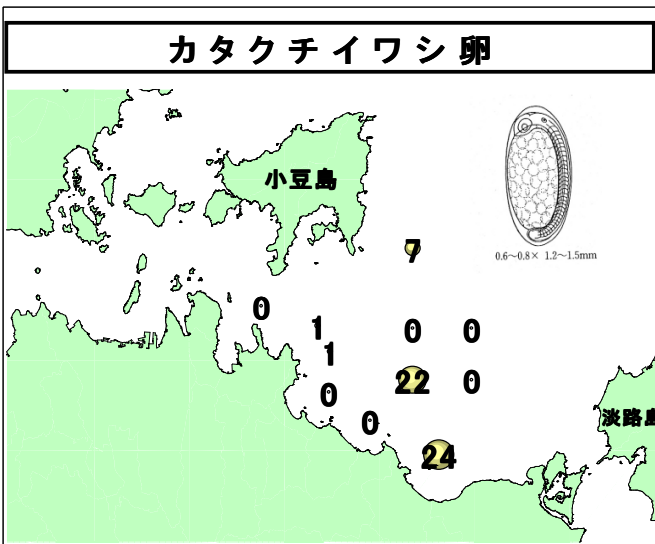
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.8.4	0	0	94	4	1	99	0	27	0	0	0	20.5
2011.8.3	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5
2012.8.3	0	1	7	0	22	0	0	24	0	0	1	5.0

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2010.8.4	2	8	25	76	13	15	41	50	0	3	15	22.5
2011.8.3	0	0	1	3	2	1	0	1	0	0	1	0.8
2012.8.3	2	33	9	7	14	4	13	5	2	1	29	10.8



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は5個で、平年同時期とほぼ同水準であった。

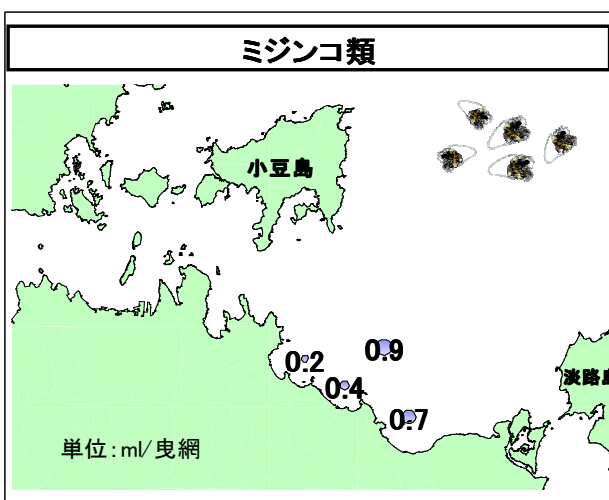
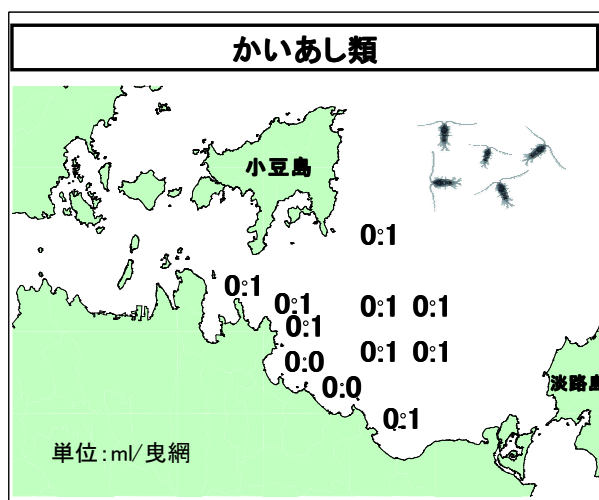
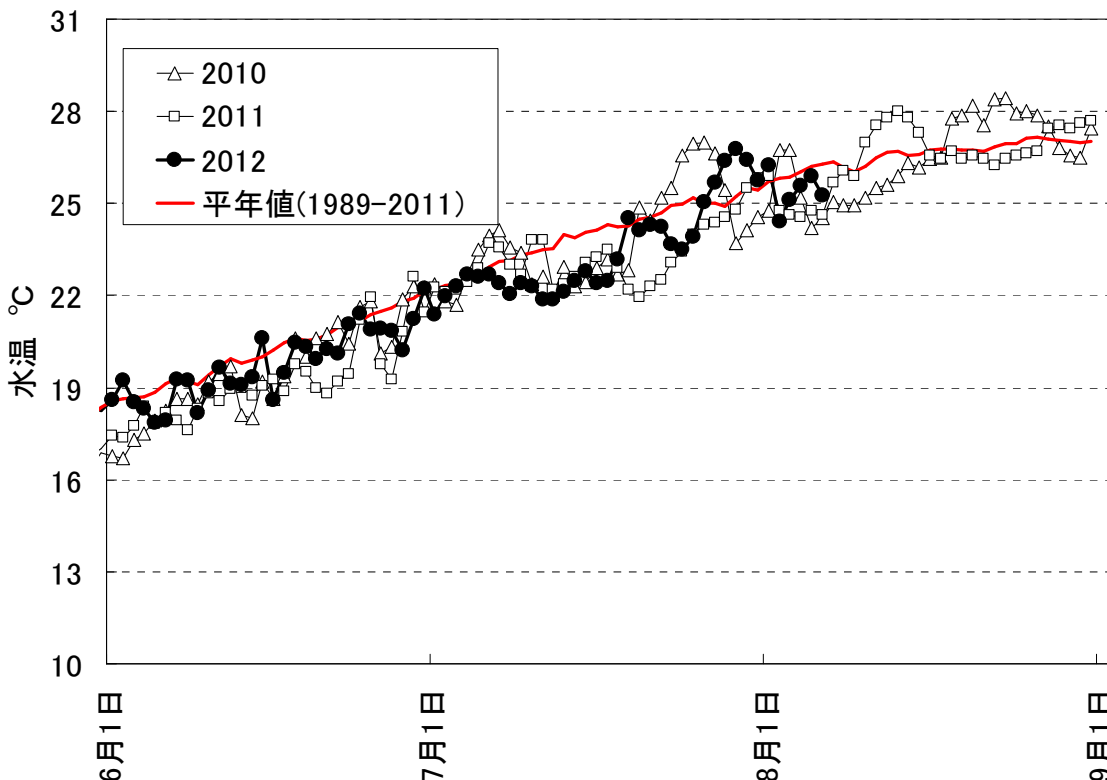
一方、稚仔の平均出現数は約11尾で、前回調査(7月18日)から減少したものの、引き続き昨年及び平年の同時期を上回った。

全ての定点で珪藻類が優占した。餌料生物として重要なかいあし類は、前回から大幅に減少し、非常に低密度であった。かいあし類と同じ動物プランクトンのミジンコ類が漁場付近で比較的多く見られた。

引田沖の水温は、7月中旬以降「やや低め」から「やや高め」で推移している。

【参考】

引田沖水温ブイデータ(午前9時, 1.5m層)



※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は、8月17日に実施予定です。